

静岡を守る

最先端の地震・津波対策

参加費
無料

要・事前申込

令和8年

2月28日 土

14:00~16:00 (13:40開場)

会場開催の御案内 (定員:100名/先着)

会 場

●コンベンションぬまづ
301・302会議室
(沼津市大手町1-1-4)

●申込方法

ホームページ又は右記二次元コード
からもお申込みいただけます。

●申込期限

令和8年2月25日(水) 17:00



オンライン配信の御案内 (定員:200名/先着)

●申込方法

右記二次元コードからウェビナー登録
をしてください。登録完了後に接続方法
を御案内します。(ビデオ会議アプリ
「Zoomウェビナー」を使用します)

●申込期限

令和8年2月25日(水) 17:00



■主催・お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター

TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603

<https://www.global-center.jp> E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

プログラム (敬称略)

■開会あいさつ

京都大学名誉教授・静岡県立大学グローバル地域センター客員教授
尾池 和夫

講演の部

■講演① 地震活動モニタリング

静岡県立大学グローバル地域センター特任教授
楠城 一嘉

■講演② 南海トラフ地震防災プロジェクト

海洋研究開発機構地震津波予測研究開発センター長・上席研究員
堀 高峰

■講演③ 早期津波予測

防災科学技術研究所上席研究員
高橋 成実

■講演④ 次世代型早期津波予測

静岡県立大学グローバル地域センター特任教授
鴨川 仁

パネルディスカッションの部

■テーマ 南海トラフ地震に立ち向かう 静岡発の技術に期待すること

■ファシリテーター

株式会社ウェザーマップ 気象予報士/防災士
伊藤 麻衣

■閉会あいさつ

静岡県立大学副学長・グローバル地域センター特任教授
酒井 敏

共 催 文部科学省科学技術試験研究委託事業

「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」

後 援 国立研究開発法人海洋研究開発機構
国立研究開発法人防災科学技術研究所
公益財団法人高橋産業経済研究財団

南海トラフ地震・津波シンポジウム

静岡を守る最先端の地震・津波対策

迫りくる南海トラフ巨大地震と津波に対して、静岡県は全国でも極めて深刻な被害が想定されており、実効性のある対策の構築が急務となっています。本シンポジウムでは、県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門をはじめ、海洋研究開発機構や防災科学技術研究所と連携して進められている最先端の地震活動監視技術と早期津波予測の研究成果を紹介します。これらの取り組みは、静岡県が直面するリスクに特化して開発された「静岡オリジナル」の予測技術であり、どの程度の減災効果が見込まれるのかについて、最新の知見に基づいてわかりやすく解説します。南海トラフ地震への備えをいかに高度化できるのか、その答えに迫る最新の研究の最前線を、本シンポジウムを通じてお伝えします。

プロフィール



楠城 一嘉 (なんじょう かずよし)

静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門特任教授。博士(理学)。専門は地震学、リスク共生学。地域防災力向上のための研究と啓発教育に従事。文部科学省「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」にも参加。主著に「地震と火山と防災のはなし(編著)」(成山堂書店)がある。



堀 高峰 (ほり たかね)

海洋研究開発機構地震津波予測研究開発センター長・上席研究員。博士(理学)。専門は固体地球科学、地震学。プレート境界におけるゆっくりすべりや巨大地震の発生メカニズムを対象とした数値シミュレーションと観測データの統合解析を推進。文部科学省「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」の課題代表として、南海トラフ沿いの地震発生過程の予測に取り組む。静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門客員教授も務める。



高橋 成実 (たかはし なるみ)

防災科学技術研究所上席研究員・連携研究フェロー。海洋研究開発機構上席研究員としてクロスアポイントメント。文部科学省「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」の課題「【工学・社会科学・地域連携研究】連鎖複合災害に備える地域防災力強化研究」の代表も務める。海底観測網の開発や即時津波予測の研究に従事。



鴨川 仁 (かもがわ まさし)

静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門特任教授。博士(理学)。専門は大気電気学、自然災害科学。認定NPO法人富士山測候所を活用する会副理事長、認定NPO法人大学宇宙工学コンソーシアム理事などを務める。NHKプラタモリにも富士山専門家として出演し、巧みな解析が評判を呼んだ。主な著書に「雷の疑問(共著)」(成山堂書店)がある。

パネルディスカッション ファシリテーター



伊藤 麻衣 (いとう まい)

法政大学を卒業後、一般企業に勤めながら、気象予報士を目指す。2011年に気象予報士試験に合格。2012年11月からドライビングウェザーを担当。翌年3月から約一年は静岡の気象会社で静岡県の予報を担当。2014年4月から再びウェザーマップに戻り、NHK広島放送局で気象情報を担当。その後2017年4月からは地元である静岡の放送局、NHK静岡で気象情報を担当している。

会場 MAP

コンベンション
ぬまづ
301・302会議室
(沼津市大手町1-1-4)

